

男女共同参画学協会連絡会 概要説明資料

1. 設置目的

学協会間での連携協力を行いながら、科学技術の分野において、女性と男性がともに個性と能力を発揮できる環境づくりとネットワーク作りを行い、社会に貢献することを目的とする。

2. 沿革

【行政】

- 1999 年 6 月 「男女共同参画社会基本法」が公布・施行
- 2000 年 6 月 内閣府男女共同参画推進本部主催 「男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」開催(シンポジウム「科学の進捗と男女共同参画」)
- 2000 年 12 月 「男女共同参画基本計画」が閣議決定

【学会会議】

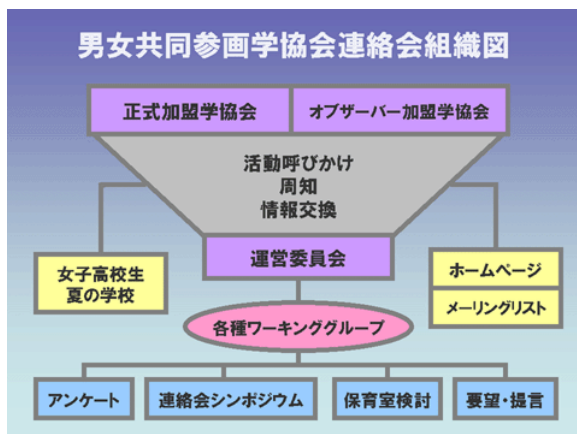
- 2000 年 6 月 「女性科学者の環境改善の具体的措置について」の(要望)及び
「日本学会会議における男女共同参画の推進について」(声明)が採択

【学協会】

- 2002 年 7 月 男女共同参画学協会連絡会準備会開催
- 2002 年 10 月 7 日 男女共同参画学協会連絡会設立集会

化学工学会、高分子学会、日本宇宙生物科学会、日本植物生理学会、日本数学会、日本生物物理学会、日本生理学会、日本天文学会、日本動物学会、日本分子生物学会、日本女性科学者の会、日本化学会、日本物理学会、応用物理学会

3. 組織



正式加盟学会 53 学協会
オブザーバー学会 37 学協会

4. 主な活動内容

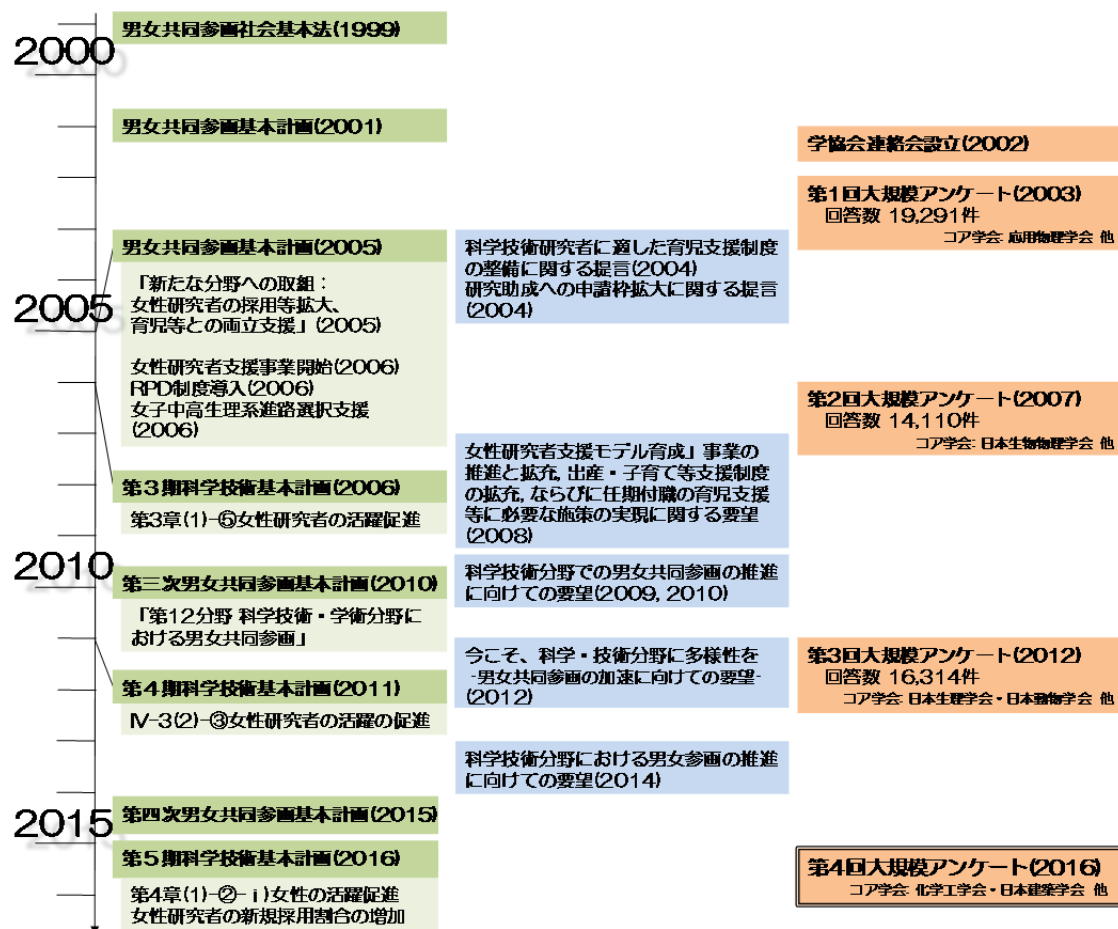
(1) シンポジウム開催

2003 年 「男女が共に生きる社会」

2004 年 「多様化する科学技術研究者の理想像:学協会アンケートが示すもの」

2005 年 「21 世紀の産業を拓く男女共同参画社会」
 2006 年 「育て、女性研究者!! 理工系女性研究者支援の新しい波」
 2007 年 「真の男女共同参画へ向けて意識を変えよう！」
 2008 年 「科学・技術の成熟と新たな創造をめざして－第二回連絡会アンケート調査報告から学ぶもの－」
 2009 年 「持続可能社会と男女共同参画」
 2010 年 「男女共同参画と社会」
 2011 年 「今、社会が科学者に求めること－ソーシャル・ウィッシュ」
 2012 年 「科学・技術における性差」
 2013 年 「多様性尊重社会を目指して－第 3 回大規模アンケート結果報告より－」
 2014 年 「女性研究者・技術者を育む土壌 ～連携・融合による支援をめざして～」
 2015 年 「男女共同参画の推進－私たちの視点から国際的な視点へ－」
 2016 年 「国際的にみて日本の研究者における女性割合はなぜ伸びないのか？」

(2) 大規模アンケート実施および提言・要望



5. HP

<http://www.djrenrakukai.org/>